

# 2023年度 事業報告書

(2023年4月1日から2024年3月31日)

## I. 概況

新型コロナウイルス感染症が第5種感染症に移行され、感染者数もピーク時に比べ大きく低減し、影響を受けていた我が国経済及び国民生活についても平常に戻りつつある。2023年度における当協会の展示事業もほぼ通常状態の運営に復帰した。

このような中であって、当協会の2023年度財産運用については国内では低金利環境が継続するものの、為替変動等の運用リスクを注視しながら、運用先・通貨・期間等を考慮した分散投資に努め、適切な資産運用を実施してきた。その結果、2023年度決算においては、前年度実績を上回る運用収入を確保することができた。

事業収入については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、年度を通じて貸会場の貸出を休止するとともに、テナントの一部が撤退したこともあり、前年に引き続き減収となった。

非収益事業である展示事業等については、2022年3月に先端技術館の一部展示を見直し、新たな展示を追加した。来館者数は、学校団体や家族連れを中心に、1万5千人となった。来館型にあわせてオンラインによるプログラミング講座なども開催した。また、地方におけるアウトリーチ事業も全国各地域で、教材貸し出しを含め、8か所（前年実績は4か所）で実施した。

その他の事業も含め、2023年度に実施した事業の主な内容は、以下のとおりである。

## II. 実施事業の具体的な内容

### 1. 展示事業

#### (1) 展示のリニューアル実施

先端技術館の展示は、エリアを「プロローグ」、「ショーケース」、「ワークショップエリア」、および「クリエイティブラボ」の4つに分け、若者とテクノロジーをつなぐ「CONNECT」をテーマに様々なコンテンツを昨年度に引き続き展開した。

また、2024年度に向けて、「ショーケース」エリアの「ニューノーマル社会に対応するテクノロジー」のコーナーを「人と自然の共生を目指すテクノロジー」コーナーに変更する工事を実施した。

セルロースナノファイバー技術をはじめとした、人も自然も豊かになる日本の「グッドバランステクノロジー」を紹介するコーナーとし、来館者にa. 現状を見せ、疑問を持たせ、b. 解決策を自分で考えるヒントを与え、c. 最新技術の事例を見せることで関心を高め、d. さらに新しいアイデアを自分で考えさせ、やる気にさせるという構成で設計した。

また、来館者のスマートフォンを使用して、各展示物の解説を聞くことが可能なデジタルアテンダントのサービスも継続した。

「ワークショップエリア」では、学生・家族連れを中心に楽しみながらロボットプログラミングを体験できるワークショップを開催し、低年齢向けのロボットプログラミング教材を自由に体験できるコーナーも継続した。

2階の「クリエイティブラボ」（後述4（1））ではものづくりに挑戦できる環境を整備した。

なお、5月8日の新型コロナウイルス感染症5類移行後においても、一日3部の総入れ替え制、完全事前予約制での運営を継続した。また、2024年度に向けては、2023年キッズデザイン賞TEPIA特別賞への入替、若者イノベーターコーナーは新たな3名の映像に変更した。

## (2) デジタルTEPIAの運営継続

2021年度前期に開始したデジタルTEPIA(オンライン上での展示)は、「先駆者からのメッセージ」の追加、「キッズデザイン賞表彰」における「TEPIA特別賞」受賞作品の展示の更新などを行い、運営を継続した。

## 2. 情報リテラシー事業

本年度はコロナ禍明け後、地方でのTEPIA先端技術館でのプログラミング体験イベントを8地域で実施した。

### (1) アウトリーチ事業（地方展開）

今年度は8地域でアウトリーチ事業を展開した。岐阜県各務原市、福岡県大牟田市、新潟県長岡市、岡山県津山市、宮崎県延岡市では地元の団体の協力いただき、また地元の高専などの学生がチューターとなり、プログラミング体験イベントを開催した。

その他3地域は、過去にアウトリーチ事業の開催実績がある福島県南相馬市において、地元団体主催のプログラミング体験講座等を昨年度同様に実施し、愛媛県新居浜市では昨年度に引き続き、過去出展したイベントにおいて、地元団体へ教材の貸し出し、レクチャーのサポートを行い、また秋田県秋田市では過去アウトリーチ事業実施に際し、ご協力いただいた地元団体のイベントへの教材貸出も実施した。

#### ① 岐阜県各務原市

【実施日・実施場所】 2023年8月6日

各務原市中央ライフデザインセンター 大会議室

岐阜工業高等専門学校、中部学院大学の学生がチューターとなり、各務原市の夏休み子ども講座内の一イベントとして、「TEPIA先端技術館プレゼンツロボットプログラミング体験イベントin各務原」を事前予約制で実施した。

② 福岡県大牟田市

【実施日・場所】 2023年8月22日

有明工業高等専門学校合同教育南棟

有明工業高等専門学校が主催する「ものづくり体験教室」にてプログラミング体験イベントを実施。有明高専の学生がチューターとなり当日受付制で4種類のプログラミング教材を用意し開催した。

③ 新潟県長岡市

【実施日・場所】 2023年10月8日～9日

米百俵プレイスマライエ長岡

長岡市が地方創生の拠点整備の一つとして、2023年夏に先行オープンした米百俵プレイスマライエ長岡において、長岡工業高等専門学校の学生がチューターとなり、6種類のプログラミングコンテンツを楽しみながら体験できる事前予約制イベントを開催した。

④ 秋田県秋田市

【実施日・場所】 2023年10月22日

秋田拠点センターALVE

地元主催の「あきたキッズプログラミングアワード」に4種類のプログラミング教材の貸し出しを行った。指導は地元の教育機関の学生が行った。

⑤ 福島県南相馬市

【実施日・場所】 2023年10月28日～10月29日

福島ロボットテストフィールド

地元主催の「ロボテス縁日ロボット・ドローン大集合」にプログラミング講座を出展した。第4回目の出展となり球体型ロボットのプログラミング講座を実施。参加者への指導はTEPIA職員が担当した。

⑥ 愛媛県新居浜市

【実施日・場所】 2023年11月18日～19日

ワクリエ新居浜

過去出展した「新居浜市まち・わざ・しごとフェス2023」内で、実施新居浜市の要請を受け、昨年度につづき3種類のプログラミング教材を貸出し、また地元スタッフへのレクチャーや当日のサポート等を職員が現地で行った。

⑦ 岡山県津山市

【実施日・場所】 2023年11月26日

津山市地域交流センター（アルネ・津山4F）

「第28回つやまロボットコンテスト」のプレイベントとして津山工業高等専門学校と美作大学の学生がチューターとなり、来場する子どもたちに5種類のプログラミング教材を用意し、当日受付制の体験イベントを行った。

⑧ 宮崎県延岡市

【実施日・場所】 2024年2月3日～4日

延岡駅西口街区ビル1F・5F

延岡市で行われた「Out of KidZania inのべおか2023」との同時開催イベントとしてプログラミング体験イベントを実施。宮崎県立延岡工業高等学校の学生がチューターとなり、5種類の教材を使い、事前予約制のイベントを開催した。

### 3. 顕彰・助成事業

(1) キッズデザイン賞におけるTEPIA特別賞授与

特定非営利活動法人キッズデザイン協議会が毎年実施する「キッズデザイン賞表彰」（後援：経済産業省）において、「TEPIA特別賞」を本年

も継続した。

・表彰式開催日（第17回キッズデザイン賞）2023年9月27日

・TEPIA特別賞：「ほぼ日のアースボール」

（受賞者）株式会社ほぼ日

#### 4. 先端技術などに関する映像情報サービス事業

##### (1) クリエイティブラボの活用

青少年がものづくりに興味を持ち、自由な発想で「ものづくり」ができる施設をめざしてクリエイティブラボは、昨年度に引き続き、2023年度は3Dプリンタ、レーザーカッター等を使用したオンライン講座を開催した。春、ゴールデンウィーク、夏休み、冬などのイベント時は、特別講座として大学や企業の協力講座やTEPIAオリジナルの来館型の講座等を開催した。また、将来的に青少年が実際にラボでもものづくりできるようにする計画のはじめとして、8～12名を対象とした、木工、レーザー加工機、3Dプリンタ、電子工作の連続講座（「クリエイティブクラブ」）を2024年度からを開始するための検討、準備を行った。

##### 【オンライン講座 内容・実施日】

- ・かんたん3Dモデリング講座
  - ・「アンブレラマーカーをつくろう！」6月4日
  - ・「ネームタグをつくろう！」8月27日、9月9日
  - ・「ネームタグをつくろう！ハロウィン編」10月15日
  - ・「ネームタグをつくろう！」2024年1月20日、2月24日

##### 【来館型講座 内容・実施日】

- ・春休みイベント（カッコ内は2022年度）
  - ・「レーザー加工機で時間わりをつくろう！」講座  
2023年（3月26日）4月2日
- ・ゴールデンウィークイベント
  - ・「作って遊ぼう！ロジカル玉転がし」4月29日

- ・「LEDで光る亚克力ボードを作ろう！」 5月6日
- ・「身の回りにひそむ‘からくり’の不思議」 5月7日  
(東京大学 サイエンスコミュニケーションサークルCAST 協力)
- ・夏休みイベント
  - ・「ロボットを組み立てて競争してみよう！」 7月27日  
(一般社団法人 日本機械学会 関東支部シニア会 協力)
  - ・「心臓をつくってみよう！」 8月3日  
(早稲田大学 岩崎清隆研究室 協力)
  - ・「科学実験教室 ～くるくるスタンドグラス～」 8月11日  
(東海大学 スチューデントアチーブメントセンター サイエンスコミュニケーター 協力)
  - ・「つくって学ぼう車のしくみ」 8月15日  
(お茶の水女子大学 サイエンスコミュニケーション団体おちゃっこLab. 協力)
  - ・「2つの箱をつくって学ぼう 光の性質」 8月17日  
(東京大学 サイエンスコミュニケーションサークルCAST 協力)
  - ・「～工作教室～ぐるぐる暗号機をつくろう」 8月22日  
(東工大 ScienceTechno 協力)
- ・冬イベント
  - ・「温度差で発電！？電気と温度の不思議な関係」 12月3日  
(東京大学 サイエンスコミュニケーションサークルCAST 協力)
  - ・「かんたん3Dモデリング かざりがゆれるミニツリーをつくろう！」 11月23日、12月10日
  - ・「炎のようにゆらぐ 電子キャンドルをつくろう」 12月2日
  - ・「Myカラオケスピーカーをつくろう！」 12月16日

- ・春休みイベント（カッコ内は2024年度）
  - ・「おいしいお茶の淹れ方講座&かんたん茶殻うちわ作り」  
2024年3月20日（株式会社伊藤園 協力）
  - ・「CNFを使った世界に1つだけのダルマ塗り絵」  
2024年3月23日（東洋レヂン株式会社 協力）
  - ・「バスボムを作って二酸化炭素を知ろう」2024年3月24日  
（一般社団法人 カーボンリサイクルファンド 協力）
  - ・「ロボットプログラミング体験」2024年3月26日  
（一般社団法人 次世代ロボットエンジニア支援機構 協力）
  - ・「あるくメカトロウィーゴで親子でプログラミング体験」  
（2024年4月6日：株式会社リビングロボット 協力）
  - ・「レーザー加工機で時間わりをつくろう！」講座  
2024年3月30日、（4月7日）
  - ・「TEPIA科学実験ワークショップ」（3月20日～4月5日）
    - A「針金で水に浮くアメンボ作り」 14回開催
    - B「実験！つかめる水作り！」 6回開催
    - C「テレビの中身？液晶を作ってみよう」 4回開催

## (2) TEPIA講演会等の開催

先端技術の動向や課題等の理解を目的に開催するTEPIA講演会を以下の通り開催した。新しい取り組みとして配信用の機材、カメラ等をあらたに導入し、リアル開催と同時にオンライン配信を行った。また、講演会終了後は、期間を定めてオンデマンド視聴も可能とした。

これらの取り組みにより、リアル、リモート参加及びオンデマンド視聴を合わせて約130名が視聴した。

- ・開催日：2023年10月27日
- ・国立研究開発法人 科学技術振興機構  
理事長（内閣官房 科学技術顧問）



橋本 和仁 氏

・講演テーマ：ガラパゴスからの脱却

～科学技術と国際協力による未来への飛躍～

## 5. 調査・広報事業等

### (1) 広報事業

TEPIAメールマガジンやTEPIAウェブサイト、SNS等にて各種情報の発信、および、全国・地方紙、通信社等、約300の各メディアに対しプレスリリースの配信等を行い、TEPIA先端技術館および各々の事業活動のPRに努めた。その他TV、Webメディアの取材、港区の地域情報誌や修学旅行生向け旅行情報誌等の情報更新等を積極的に行い、昨年度を上回る集客に貢献した。

また、港区等の地域の関係団体との交流を実施するとともに、各加盟組織の年次総会等に参加し、TEPIAに関する情報発信を行う等、全国の関係組織との連携を深めた。

## 6. TEPIA 館施設の賃貸

貸会場については、年間を通じて引き続き貸出を休止した。また、テナントの内、レストランの賃貸事業については、これまで営業を中止していたが先行き不透明なことに加え、賃貸借契約が切れたことから下半期に撤退した。

以 上